

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アルケンⅡ		
○保護者評価実施期間	R7年1月20日		～ R7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R7年2月10日		～ R7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平支援学校の利用者、いわき支援学校の利用者どちらの学校の利用者も受け入れ、同じスペースで活動することにより、普段関わることがない友達と関わり、互いに助け合う気持ちの成長を成長させることが出来る	集団での活動で、みんなが関れるように安全に配慮しながら職員を配置し、一緒に活動できるようにしている。	職員での話し合いによって決めている活動をととして、職員のスキルアップを図り、活動の幅を広げる。
2	強度行動障害や個別サポートが必要な利用者の受け入れ	利用者の特性や、行動について職員間で話し合い、注目行動にならないように支援している。	クールダウンや使用できるスペースの確保
3	支援会議を定期的に行い情報共有できる場の確保している	支援会議や職員会議などを定期的に行い情報共有を図り支援に一貫性が確保できるようにしている。 また支援の変更などがある時には、日々のミーティングで話し合えるようにしている。	学校や保護者との連携をさらに図り、統一した支援が出来るようにしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアでの活動なので、クールダウンするスペースが生活介護事業所と共有スペースになっている	事業所を建てた時にそこまでの必要性を感じなかったのかもしれない。	パーティション等を用いて、個別スペースの確保をしていく
2	家族からの相談などには迅速に対応できるようにしているが、十分なペアレントトレーニングができていないか不安	ペアレントトレーニングを行う職員の知識やスキルが不足している	外部研修に参加し、職員のスキルアップを目指す
3			